

わが校の特色ある教育

西米良村立村所小学校

校長 山田 高大

本村は、村所小と西米良中で合同研究会（村教委事務局）が設立されており、平成 29 年度から毎年、「教育の情報化」研究公開を実施している。また、令和 3 年度、「日本教育工学協会 学校情報化優良校」、令和 4 年度、「宮崎県 ICT 活用推進モデル校先進校」として認定され、さらなる研究実践を積み重ねている。

1 ICT 環境に係る物的・人的な支援

本村では、平成 24 年度から ICT 環境の整備が進み、令和 3 年度に学校用・家庭学習用の「タブレット 1 人 2 台体制」となった。また、ICT 支援員（村雇用）の週 1 回の常駐やヘルプデスク（村教委）の設置があり、機器管理や整備、教職員の活用や不具合への対応などの支援がある。他にも、授業支援・学習支援ソフトの活用マニュアル動画が作成されており、それをもとに校内で研修したり、夏季休業中に業者によるスキルアップ研修会に参加したりしている。



【ICT を活用した授業】



【家庭での AI ドリル】

2 これまでの研究内容等

合同研究会では、著名な大学教授の講義を受講したり、県教委指導主事からの助言を受けたりするなど、研究の方向性や考え方における核となっている。また、ICT を活用した主体的・対話的で深い学びを実現するため、「授業づくりの視点」として、「学習課題（問い）の工夫」「対話的な学習活動の工夫」「まとめ・確かめ・振り返りの工夫」としている。

ICT の具体的な活用としては、授業者及び児童の視点に立った効果的な活用方法（時間短縮・授業の効率化、視覚的理解の促進、興味関心の高揚、記録・保存、再現・加工・再利用、共有等）など、具体的・実践的な研究に取り組んでいる。また、各教諭の実践報告会や相互授業参観、研究公開模擬授業などにも計画的に実施し、授業改善に努めている。



【オンライン授業】

3 特色ある実践事例

1 人 2 台のタブレットを活用し、学校と家庭での学びをつなぐ授業スタイル及び家庭学習

- (1) 授業スタイル：Google Workspace for Education を活用して家庭で学習課題を把握させたり、自分の考えをもたせたりして、授業の効率化を図っている。
- (2) オンライン授業：自宅待機児童や臨時休業時に授業に参加できる体制・環境を整えている。
- (3) AI 機能を活用した家庭学習：個々の児童生徒の課題に合わせた問題を出すことが可能な「AI ドリル」や音読の技能を数値化することができる「AI 音読」を行っている。